

株式会社ヨシモリ 事業計画(処分業)

1. 事業全体の概要

(1) 産業廃棄物処理業

2. 事業の全体計画

事業者が排出する産業廃棄物の中間処理実績を行ってまいります。地域環境、社会情勢の変化に応え、地球環境にやさしい企業として、ISO14001 の認定取得などにより限りある資源の有効活用に努めながら、自然環境との調和を目指します。

3. 中間処理業

(1) 処分の方法と取り扱う廃棄物の種類

- ① 圧縮 金属くず (以上 1 種類)
- ② 圧縮梱包 廃プラスチック類(ペットボトルを除く。) (以上 1 種類)
- ③ 破碎 廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (以上 2 種類)

4. 予定計画運搬量

- ① 廃プラスチック類 1,000t/年
- ② 金属くず 300t/年
- ③ ガラスくず 200t/年

5. 収集運搬実績表(3ヶ年)

別紙 1 のとおり

6. 中間処理(フロー)の概要

- ① 金属くず
作業場にて不適物等を人力分別後、分別機でアルミ缶とスチール缶に分別する。圧縮処理後は一定量に達するまで保管し、売却処理する。
- ② 廃プラスチック類
作業場にてビニール袋やペットボトルを除く軟質プラスチック類を人力分別し、圧縮梱包する。処理後、売却及び他社で中間処分を行う。
- ③ ガラスくず
作業場にて不適物等を人力分別後、ビン類を破碎し、売却処理する。
- ④ 廃プラスチック類(主にペットボトル容器)
作業場にて不適物等を人力分別後、フレコンパックに袋詰し、規定に達するまで保管後、破碎処理する。処理後、売却する。

7. 事業体制

稼働時間

- ・ライン稼働時間 8時から17時
- ・休憩時間 1時間

8. 環境保全措置

① 粉じんの飛散

- ・分別作業はホコリが立たないように丁寧に行う。
- ・必要に応じて散水する。

② 悪臭

- ・保管場所の清掃は毎日行う。
- ・排水溝、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・消臭剤を常備し、適宜使用する。

③ 騒音・振動

- ・車両から落下させての荷下ろしはしない。
- ・アイドリングストップを励行する。

④ 地下浸透

- ・施設の床面は全てコンクリートで舗装されている。

⑤ 害虫の発生

- ・保管場所の清掃は丁寧に行い、清掃後の汚水等は、高圧洗浄機等を使用し、排水溝へ流す。
- ・排水溝、オイルトラップを定期的に清掃する。
- ・殺虫剤を常備し、適宜使用する。

9. その他

(1) ISO14001 の取得

ISO14001 による継続的な取り組みを行い、環境関連法令の遵守、安全教育・緊急事態への対応等を計画的に実施していくことで、環境保全の維持向上に努めている。

(2) 健康経営「銀」の認定(協会けんぽ)、足立ワークライフバランス推進企業認定健康経営やワークライフバランスを推進することにより、過重労働対策や生活習慣病対策を推進する。

(3) 産業廃棄物処理業 認定講習会修了者 処分業 1名配置

施設(扇リサイクルセンター)概要

1. 施設所在地

東京都足立区扇二丁目 2 番 18 号

2. 設置年月日

平成 10 年 1 月 30 日

3. 施設種類

(1) 圧縮

① 金属くず(スチール)

一方締め金属圧縮機(KPG-20) 処理能力 6.63(t/日)

設置年月日 平成 25 年 6 月 27 日

② 金属くず(アルミ)

小型プレス機(KPG-7.5)処理能力 1.04(t/日)

設置年月日 平成 10 年 1 月 30 日

(2) 圧縮梱包

① 廃プラスチック類(ペットボトルを除く)

圧縮減容梱包機(NCP100S)処理能力 1.48(t/日)

設置年月日 平成 28 年 9 月 27 日

(3) 破碎

① ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず

回転式破碎機(G-0100) 処理能力 0.72(t/日)

設置年月日 平成 28 年 9 月 27 日

(4) 分別機

① 4 種分別処理機(KM-2000)処理能力 4.0(t/日)

設置年月日 平成 10 年 1 月 30 日

(5) 破碎

① 廃プラスチック類

一軸式粉碎機(VC3-420) 処理能力 (1.92t/日)

設置年月日 令和 6 年 1 月 24 日

4. 処理工作図(産業廃棄物の流れ:フロー図)

別紙 2 のとおり